

日本包装リースの生い立ちとつとめ

生い立ち

包装機械新聞に連載している「包装リースだより」の原稿を執筆するよう命じられ、何を書いたらよいか迷いに迷い日本包装リースの生い立ちを知らない業界人および弊社社員が増加してきていることをみて、持っているデータ、記憶を頼りに執筆してみました。

私は、日本包装機械工業会に約40年在籍し、包装リースとの直接的な繋がりは昭和63年から監査役を務め、平成22年6月から専務取締役として営業の責任者を務めていることにあります。

包装リースは、今から38年前の昭和49年に設立されたが、その背景と動機は昭和46年に始まる。この年日本政府は、対外政策の一環として包装機械工業の資本の50%自由化を実施し、さらに昭和50年5月には100%自由化を行うと方針を決めた。この方針

に対し、中小企業が多い包装機械工業の団体である日本包装機械工業会は業界の存亡に係る問題として通商産業省（現経済産業省）に自由化の延期を陳情し、その一方では100%自由化が実施された場合の業界の生き残り対策を協議してきた。その結果、防衛策として、当時日本市場に進出していた大手海外メーカーが行って

いた包装機械のリース販売方式を取り組み、リースを通じて業界の保護育成を図ることを昭和48年10月、日本包装機械工業会の理事会で決議し、発起人会を設置し、設立準備が進められた。

リース会社設立を決議し、わずか三ヶ月後の昭和49年1月、「株式会社日本包装リース」が日本包装機械工業会の会員の出資によって誕生した。日本包装リースが産声をあげた東京都港区西新橋3丁目にある第二南桜ビルの7階に事務所を置いた日本包装機械工業会の一室を借り、わずか3名の社員でスタートしたのが始まりである。

包装リースのつとめ

包装リースも設立してから38年が経過し、その間紆余曲折を経験しながら、売上高80億円、総資産も250億円、従業員40名の規模に成長したが、これも偏に経済産業省をはじめ、日本政策投資銀行ならびに協調銀行融資団と日本

包装リースだより²⁰

株式会社日本包装リースは、日本包装機械工業会の会員が出資して設立した包装機械・関連機械の専門リース会社です

お問合せ先：営業企画室 電話03-6222-2261 <http://www.jpml.jp/>

包装機械工業会を中心とした多くの会員および株主に支えられてきた結果である。

包装リースは小さな会社ではありますが、日本の包装機械および関連機器業界の発展に少しでも寄与できるように努め、株主、需要業界各位の要望に沿った、また少しでも存在価値のあるリース会社として生きて行きたいと思っております。関係各位の倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

専務取締役 岡部孝之